

大学がある京都市山科区ってどんな街？  
“深刻化する高齢化に医療施設の数・役割は適切か”



京都橘大学 経済学部  
山口 佑音

※本演題発表に関する開示すべきCOI(利益相反)はありません。

# 01 京都橘大学 profile

タグライン

「変化を楽しむ人であれ」

学部学科数

9学部 15学科

就職率

97.8%

在学生数

6,405名

就職満足度

99.2%

京都市山科区の地図



国家試験合格率

保健師

助産師

救急救命士

100%

診療情報管理士(2023年度)

100%

# 02 はじめに

※京都市情報館 京都市の高齢者人口—令和5(2023) 引用

## 令和5年度高齢者率

- 全国 約29.1%
- **山科区 約32.0%**  
(平成2年から約20%上昇！)



京都市内で**最も高い**

全国高齢者率  
総務省統計局より

(単位：%)

各年10月1日現在 (令和5(2023)年は9月15日現在)

行政区	平成2 (1990)年 a)	7 (1995)年 a)	12 (2000)年 a)	17 (2005)年 a)	22 (2010)年 a)	27 (2015)年 b)	令和2 (2020)年 b)	3 (2021)年	4 (2022)年	5 (2023)年
京都市	12.7	14.7	17.4	20.1	23.0	26.6	28.2	28.4	28.4	28.5
北区	14.1	16.1	18.8	21.2	24.3	27.6	29.6	29.8	29.7	30.1
上京区	18.4	20.4	22.4	23.8	25.2	26.5	27.2	27.1	26.5	26.3
左京区	14.0	16.1	18.8	20.9	23.6	26.7	28.1	28.3	28.2	28.3
中京区	17.8	19.6	20.9	21.2	23.4	24.8	24.7	24.9	24.6	24.6
東山区	19.9	22.4	25.5	27.6	30.0	32.7	32.9	32.7	32.3	31.8
<b>山科区</b>	<b>9.8</b>	<b>11.9</b>	<b>15.4</b>	<b>18.9</b>	<b>23.4</b>	<b>29.1</b>	<b>31.4</b>	<b>31.7</b>	<b>31.8</b>	<b>32.0</b>
下京区	19.3	21.0	23.0	23.2	22.7	22.9	22.9	22.8	22.5	22.2
南区	12.1	14.2	16.9	19.2	21.2	24.6	25.8	25.9	25.8	25.6
右京区	11.1	13.2	16.6	20.2	23.1	27.0	28.9	29.1	29.1	29.2
西京区	8.4	10.2	12.5	16.2	20.2	25.7	28.4	28.8	29.2	29.7
伏見区	9.6	11.9	15.0	18.4	22.1	26.7	29.2	29.5	29.6	29.8

# 03 そこで! (方法)

(※抄録当時は2021年と2023年の対比)

①

医療・介護予測指数  
の年代別比較

②

目標病床数の比較  
京都府と山科区

③

2024年度と2026年度を対比

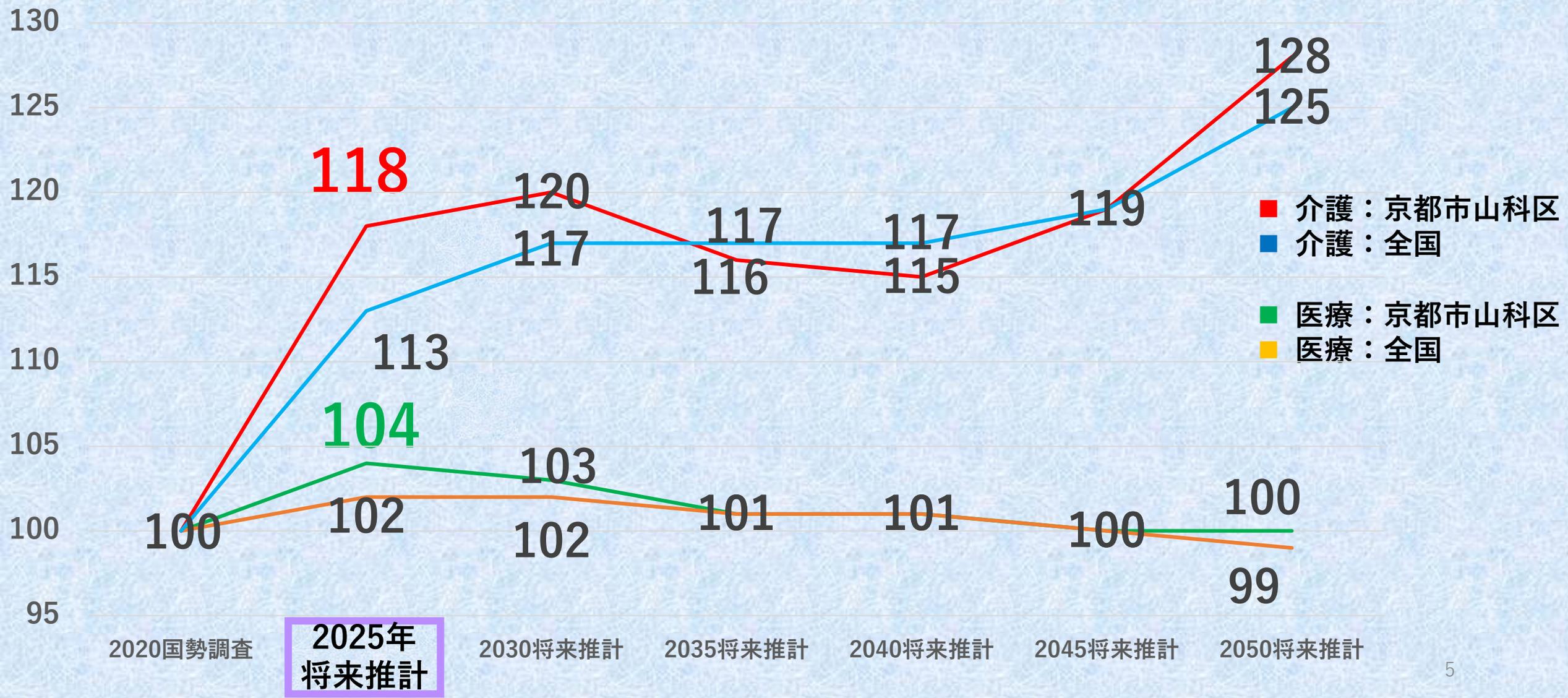
整備等目標人数の  
適切性を検証

- ・ 介護保険施設
- ・ 居住系サービス

今後の山科区の**医療・介護体制**を検証

# 04 結果①

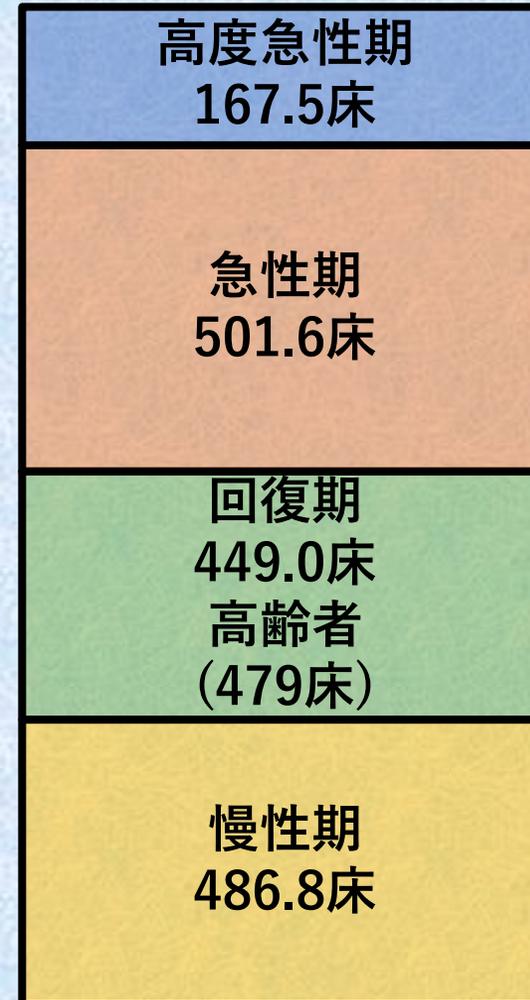
※日本医師会の地域医療情報システムより引用



## 京都府 2025年の病床目標数

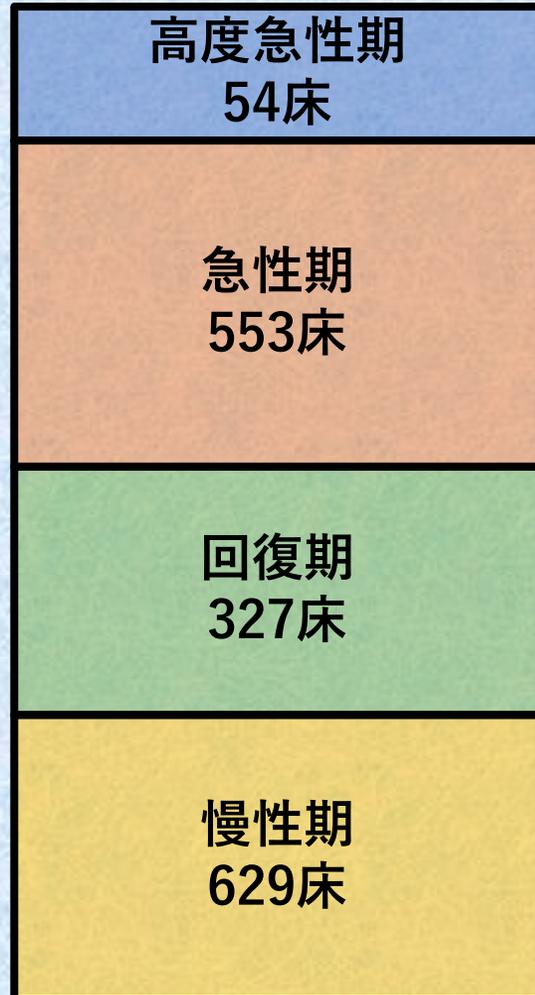


## 山科区 2025年の病床目標数



京都府と山科区の人口比により山科区の病床目標数を推計

## 山科区の現状



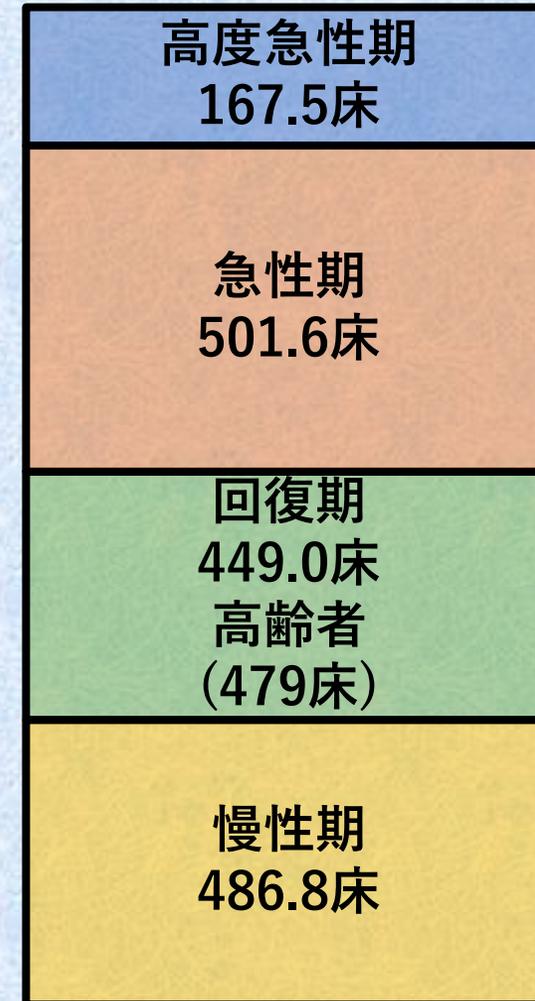
113床減

53床増

120床減

135床増

## 山科区 2025年の病床目標数



## 2025年度と現在の病床数を比較

洛和会音羽病院(DPC特定病院)

機能の役割を担い、高度急性期として対応可能

- ・ **在宅医療の推進**(回復期・慢性期の見直し)
- ・ 居宅系サービスなどの充実化



**POINT!!**

# すこやかプランの内容確認・今回の目的からの考察

施設数の目標は**増加**傾向にある、収容人数**増加**

生産年齢人口は**減少**傾向にある

介護職員不足(見合った人材がない)



今後の対策として

**働き手の増加** and **在宅介護を拡充**

## 現状

山科区の医療・介護の現状及び今後の予測を試算



## 展望・課題

目標数が足りてないにも関わらず、人材は不足する



## 将来の自分へ

今後…地域医療構想などを分析し、医療機関や地域医療に貢献したい